

令和元年第三回防府市議会定例会〔行政報告〕

- 一 防災について
- 二 庁舎建設について
- 三 上山満之進生誕一五〇年事業について
- 四 セルビアホストタウン推進事業について
- 五 観光事業について

行政報告

一 防災について

平成二十一年の災害から十年目を迎えた七月二十一日の「市民防災の日」に防災講演会等の行事を予定しておりましたが、早朝から大雨警報などが発表され、水防本部体制をとったことから、十年前の教訓も踏まえ、中止いたしました。

なお、予定していました防災標語の表彰式については、国が定める「防災の日」である九月一日に実施いたしました。あわせて、同日に「女性向け防災セミナー」を初めて開催いたしましたとごさいます。

今後も、しっかりと「防災」に関する啓発活動を進めてまいります。

二 庁舎建設について

今般、新庁舎建設の基本設計・実施設計の業者選定のため企画競争である公募型プロポーザル方式の進め、八月十三日に株式会社久米設計九州支社を優先交渉権者として選定いたしました。今後は、地元企業との共同企業体を結成していた上で、契約を締結する予定でございす。

今後、基本設計を進める中で、市民ワークショップやパブリックコメント等を実施してまいります。

三 上山満之進生誕一五〇年事業について

本年は、防府図書館の前身である三哲文庫を創設された上山満之進翁の生誕一五〇年に当たります。去る八月二十五日に「上山満之進に学ぶ会」が主催された「上山満之進生誕一五〇年記念の集い」に、私も参加させていただきました。

本市におきましても、その功績を顕彰するため、中央町公園の通称名を三哲文庫記念公園とし、上山翁の誕生日である九月二十七日に名称碑を設置するとともに、記念講演会の開催や陳澄波の絵画「東台湾臨海道路」の展示を行うこととしております。

なお、三哲文庫記念公園の名称碑については、防府中央ライオンズクラブ様から寄贈の申出がありましたので、これをお受けすることにしております。

今後も、上山翁の功績や思いなどについて、顕彰してまいります。

四 セルビアホストタウン推進事業について

「2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会」の開催まで一年を切りました。カウンタダウンボードの設置をはじめ、防府商工高等学校の生徒が製作した「セルビー」のオリジナル缶バッジの配布や「セルビアちゃんねる」による動画サイトでの発信など、機運醸成に向けた取組を進めているところでございます。

こうした中、八月上旬に開催されたバレーボールの世界予選において、セルビア女子チームのオリンピック出場が決定いたしました。市民の皆様からの応援に感謝いたしますとともに、男子チームにつきましても、出場が決まることを願っております。

ます。

五 観光事業について

今年度を「ほうふ観光元年」と位置付け、防府商工会議所や防府観光コンベンション協会等と連携し、「防府が一つになった新しい観光振興」を展開しているところでございます。この夏も「夏の幸せますフェスタ」と称して、趣向を凝らした夏祭りを実施いたしました。

七月十四日の「港まつり」を皮切りに、七月二十七日の「商店街イベント」や「防府おどり前夜祭」、八月三日の「防府おどり本番」、八月三日から八月五日までの防府天満宮「御誕辰祭」や「大花火大会」まで多くの観光客でにぎわい、まさに「すごいな！すごいぞ！防府」の気分を満喫いただけた夏だったと感じております。これも、市議会議員の皆様をはじめ、関係された方々の御尽力あつてのことでございます。秋以降も、しっかりと取り組んでまいりますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。

また、地域交流センター「アスピラート」前に設置しております「からくり時計」については、このたび、防府中央ライオンズクラブ様からの御寄附により、新たに観光案内の広報看板へと改修することにし、観光事業などのPRに活用していく予定としております。